

The image shows the exterior of a modern house. The main facade is covered in dark, vertically-oriented wooden planks with a textured, weathered appearance. A light-colored wooden door is centered, framed by a dark horizontal overhang. To the left of the door is a small, square window. The house is surrounded by a garden with several thin, bare trees in the foreground and a stone path leading to the entrance. A white mailbox is visible on the right side of the path.

NIWAtO

HIMEJI GARDEN ATELIER

外構で家はここまで変わる

美しく見える庭と外構 7つの設計 ルール

おしゃれな商品を並べても、美しくはありません。

はじめに

この冊子は、商品の紹介ではありません。

どの門柱がいいか、どのフェンスが流行っているか、という話は出てきません。

お話ししたいのは、「なぜ、この家は美しく見えるのか」です。美しく見える家には、共通する設計の考え方があります。素材の数、門柱の扱い、駐車場の見せ方、植栽の位置、見せ方の順番、窓との関係、夜の姿。7つのルールにまとめました。

読み終えたとき、「外構は商品選びではなく、設計なんだ」と思っていたら、この冊子の役目は果たせています。

NIWAtO 本田 準一

7つのルール

1. 家と外構の素材を増やしすぎない
2. 門柱を主役にしすぎない
3. 駐車場をただのコンクリートの面にしない
4. 植栽を「余った場所」に植えない
5. 全部を見せない
6. 窓と庭をセットで設計する
7. 夜までデザインする



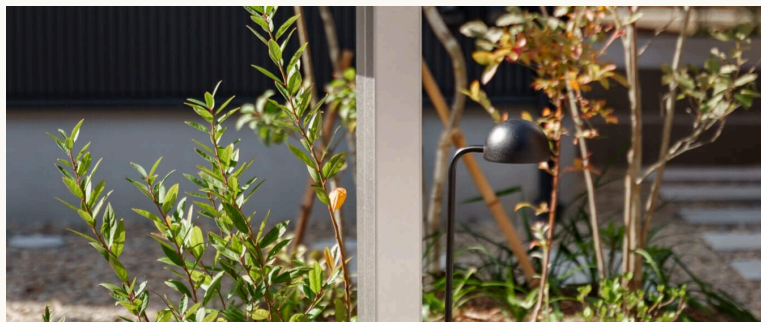
4

ルール1 家と外構の素材を増やしすぎない

(写真: 素材が絞られた全景)

石、木、金属、タイル、コンクリート。

外構で使える素材はたくさんあります。ただ、増やすほど雑然とします。



5

ルール1 解説

設計の意図

素材は、家の外壁と屋根から数え始めます。外壁が左官なら、すでに一つ。屋根が金属なら、二つ。外構で足す素材は、そこに一つか二つまで。合計で三つか四つに収めると、家と庭がひとつのものに見えます。

暮らしへの効果

素材が少ない外構は、目が休まります。毎日帰ってくる場所が、落ち着いた景色になります。

ありがちな逆の例

門柱はタイル、フェンスはアルミ、アプローチはインターロッキング、駐車場はコンクリート、花壇はレンガ。ひとつずつは悪くなくても、並ぶと落ち着きません。



6

ルール2 門柱を主役にしすぎない

(写真: 控えめな門まわりと植栽)

家より先に、門柱が目に入る。

それは、門柱が主役になってしまった外構です。



7

ルール2 解説

設計の意図

表札、ポスト、インターホン、宅配ボックス。機能は必要です。ただ、それを一本の大きな柱に集めると、家の正面に「もうひとつの建物」ができます。

NIWAtOでは、機能を植栽と壁に溶かします。低い壁にポストを埋め、表札は小さく、インターホンは木の陰に。門まわりは、家を引き立てる脇役です。

暮らしへの効果

帰ってきたとき、最初に目に入るのが家そのものになります。

ありがちな逆の例

機能門柱を建物の中央に立て、両脇を空けてしまう。門柱だけが浮いて見えます。



ルール3 駐車をただのコンクリートの面にしない

(写真: 目地と植栽のある駐車スペース)

駐車場は、道路から一番よく見える場所です。
そこが灰色の面だけだと、家の第一印象も灰色になります。



9

ルール3 解説

設計の意図

車が動く範囲だけを土間にし、目地に砂利や石や下草を入れる。土間の割り方で、面が「床」に変わります。車が出ている昼間の時間の方が長いことを忘れずに、車が無いときの見え方を設計します。

カーポートが必要なときは、建物の色と素材に合わせ、位置を考えます。必要性和デザインを同時に考えるのが、NIWAtOのやり方です。

暮らしへの効果

駐車場が庭の一部になります。車を停めるだけの場所に、緑が入ります。

ありがちな逆の例

敷地の道路側を全面コンクリートにして、その奥に家。家が駐車場の付属に見えます。



10

ルール4 植栽を「余った場所」に植えない

(写真: 窓の正面の一本の木)

木を植える場所は、「空いているところ」ではありません。
窓の正面、視線の先、隠したい場所。植える場所には、すべて理由があります。



11

ルール4 解説

設計の意図

まず、リビングの窓の正面に何を見せるかを決めます。次に、道路や隣家からの視線が通る一点を探します。それから、建物の硬い角を和らげる位置を探します。そこに、育った姿の大きさに木を置きます。

落葉樹と常緑樹の使い分け、季節の色、下草との組み合わせは、その後です。

暮らしへの効果

窓を開けると、木がある。季節が家の中から分かる。木一本で、暮らしの景色が変わります。

ありがちな逆の例

外構が終わった後、花壇の空いたところに、ホームセンターで買った木を植える。窓からは見えず、道路からも隠れず、ただ植わっている木になります。



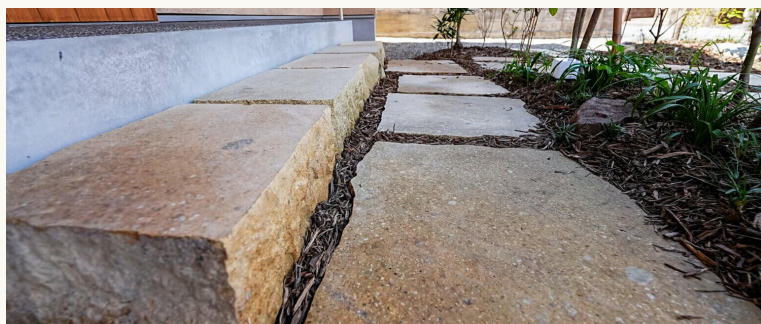
12

ルール5 全部を見せない

(写真: 曲がるアプローチと植栽)

門から玄関まで、一直線に全部が見える庭は、一度見たら終わりです。

曲がる、隠す、抜ける。歩くと景色が変わる庭は、毎日飽きません。



13

ルール5 解説

設計の意図

アプローチを少し曲げる。植栽で先を隠す。抜けた先に、小さな庭を置く。「ふたつ庭の家」は、主庭と副庭を分け、歩くたびに違う景色が現れるように設計しました。

敷地が広くなくても、できます。塀の高さを変える、飛び石の向きを変える。それだけで、庭は奥行きを持ちます。

暮らしへの効果

帰宅の数十歩が、毎日の小さな散歩になります。来客は、玄関に着く前に家を好きになります。

ありがちな逆の例

道路から玄関まで一直線のアプローチと、両脇に均等に並んだ植木。整ってはいますが、歩く楽しみがありません。



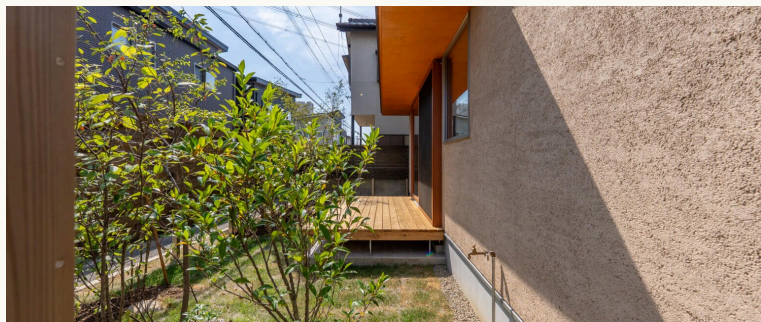
14

ルール6 窓と庭をセットで設計する

(写真: 室内から窓越しに見た庭)

外から見る庭より、室内から見る庭。

一日のうち、庭を一番長く見るのは、リビングの窓越しです。



15

ルール6 解説

設計の意図

窓の高さと幅に合わせて、植える位置と高さを決めます。掃き出し窓なら、足元に低い植栽と、少し離れて中木。腰窓なら、窓の中央に枝が来る高さの木。デッキをつくるなら、床の高さを室内の床にそろえ、庭が部屋の続きになるようにします。

これは、建物の窓の位置が決まる段階でしかできない設計です。だから、家と一緒に庭を設計します。

暮らしへの効果

カーテンを開けて暮らせます。ソファに座って、木を眺める時間ができます。

ありがちな逆の例

外構の打ち合わせを、家の完成後に始める。窓の正面には、もう隣家の壁が見えています。



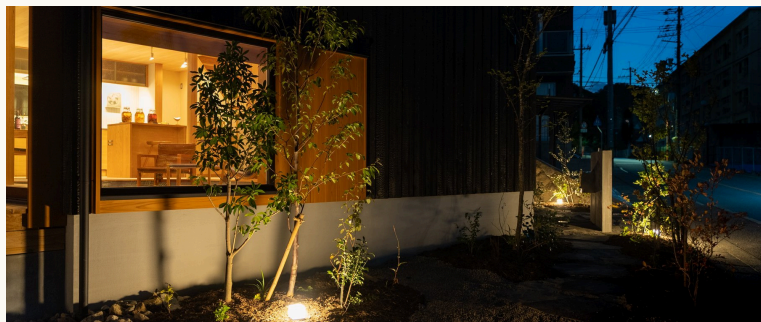
16

ルール7 夜までデザインする

(写真: 夜の植栽ライティング)

庭は、昼と夜で二つあります。

照明を設計すると、夜の庭が生まれます。



17

ルール7 解説

設計の意図

上から照らさず、足元と樹を照らします。壁に光を当てて、面をつくれます。アプローチは、点々と続く灯りで導きます。そして、室内の灯りと外の灯りをつなげると、夜、窓の向こうに庭が浮かびます。

配線は、建物の電気工事と一緒に仕込みます。器具は少なくていい。光の置き場所が設計です。

暮らしへの効果

夜、帰ってきたときの家の顔ができます。防犯にもなり、夜の庭で過ごす時間もできます。

ありがちな逆の例

玄関灯だけ。夜の家は、真っ暗な箱になります。



18

素材の話

石、木、左官、植栽。

NIWAtoが既製品を並べない理由は、素材そのものの美しさと、
歳の取り方にあります。



19

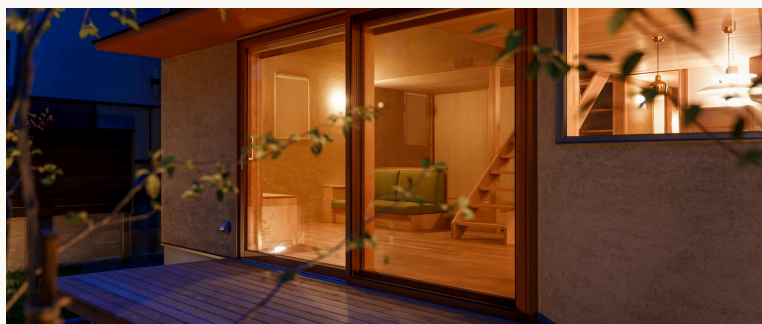
石

竜山石

姫路城の石垣にも使われた、播磨の石です。柔らかい黄みの色で、雨に濡れると深くなります。アプローチの石段、飛び石、壁に使います。

鉄平石

繭あかりの家では、踏む場所ごとに石を変えました。人が毎日歩く場所には硬く滑りにくい鉄平石を、眺める場所には表情のある竜山石を。



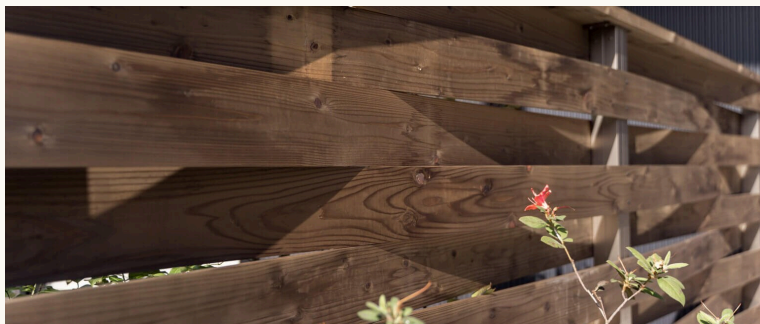
20

木

サイプレスのウッドデッキ

無塗装で使い、銀色に変わっていく色を待ちます。塗り替えに頼らず、経年で美しくなる樹種です。デッキの床の高さは、室内の床にそろえます。

樹種の比較は、niwato.com の Column で詳しくお話ししています。



21

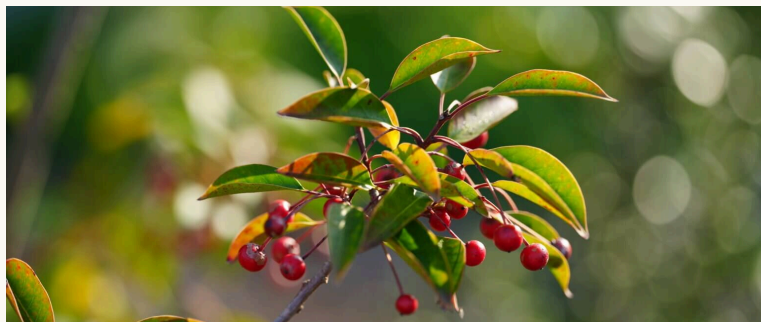
左官と造作

左官の壁

職人が塗る壁は、既製品にはない影と手触りを持ちます。家の外壁が左官なら、外構の壁も同じ職人が塗ることで、家と庭がつながります。

造作

フェンスひとつ、ポストひとつまで、現場に合わせて逃えます。規格品を並べるより手間はかかりますが、その土地にしかない庭は、この方法でしかつくれません。



22

植栽

モミジ、イトススキ、苔、水鉢。

季節で表情が変わるものを、窓の前に置きます。春の新緑、秋の紅葉、冬の枝。水鉢は、小さな庭に水と光の動きをつくります。



23

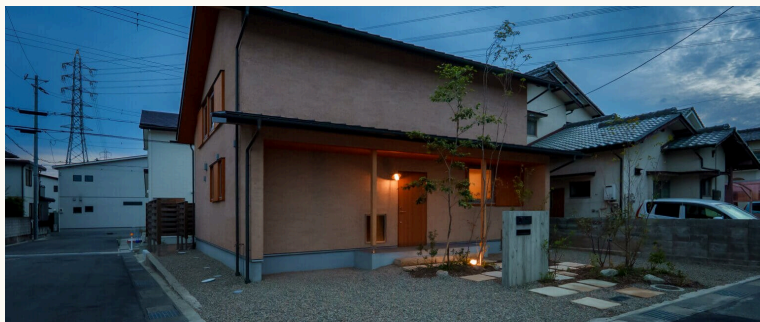
時間が美しさを育てる

竣工の日が一番きれいな庭ではなく、5年後、10年後に一番きれいな庭を設計します。

木が育ち、石が濡れて色を深め、デッキが銀色になる。時間が美しさを育てる庭は、既製品では作れません。

だから、植えた後まで責任を持ちます。

木が根付き、暮らしに馴染むまでが、NIWAtOの庭づくりです。



24

おわりに

7つのルールは、商品を選ぶための基準ではなく、設計の順番です。

建物の配置図や平面図があれば、どの順番で何を決めていくべきか、いまの段階でお話できます。建てる会社が決まっている方も、これから決める方も、図面を持ってお越しください。

見学・相談のご案内

niwato.com/contact

NIWAtO 姫路市飾磨区上野田3-69-2 TEL 079-280-2780

他の2冊のご案内

失敗編 家が完成してからでは遅い 新築前に確認したい「庭と外構 15のチェックリスト」

打ち合わせの終盤に「外構は別で」と言われる前に。

お金編 外構の予算は、何に・どの順番で使うのか

400万円・500万円・600万円。それぞれで何ができるかを、モデルケースで。

奥付

美しく見える庭と外構 7つの設計ルール

2026年 第1版

発行 NIWAtO(運営事業:クオホーム)

姫路市飾磨区上野田3-69-2

本冊子の内容・写真の無断転載を禁じます。